

しずく

No.
118

2021.7

●編集●
広報広聴常任委員会
●発行●
岩手県雫石町議会

議会だよ

●今号の主な内容

特集 小学校統合のいま…2

6月定例会…6

町政を問う

一般質問 10議員が質問…8

常任委員会報告…16

ふるさとへの便り(84)…19

●今号の表紙／なかよしシリーズ⑬

「わたしたち3兄妹」…20



特集

小学校統合のいま

町では、町立小学校の適正配置基本計画に基づき、平成29年から30年にかけて、西山地区3校、御明神地区2校、御所地区3校を統合し、それぞれ1校となりました。今回の特集は、統合後の小学校の様子や閉校後の学校施設の活用状況を紹介します。



■御所小学校

大村小学校、南畑小学校、安庭小学校3校の校章を一つにし、それぞれの由来を引き継ぎ、在校生や卒業生など地域の方々にも親しみのあるデザインです。



■御明神小学校

御明神小学校の校章が由来で、多賀神社の神鏡とヒノキの葉、橋場小学校の校章であった駒ヶ岳と亀川を組み合わせたデザインです。



■西山小学校

昭和47年に閉校した旧西山中学校の校章が由来で、西山の「西」と岩手山を表した「山」を重ね、小学校らしく柔らかくまとめたデザインです。



御所小学校

御所小学校(校長 松本洋介)は、御所地区の大村小学校、南畑小学校、安庭小学校の3校が統合し、平成20年に建てられた安庭小学校を校舎として平成29年4月に開校しました。令和3年4月の児童数は103人です。



校長先生から

統合後5年目となり、順調に教育活動が展開されています。子どもたちはみんな仲良く元気に学校生活を送っています。子どもたちは地区に関係なく友達関係を築いています。保護者の方々も同様です。学校行事となれば、協力いただき非常に感謝しています。授業参観やPTA総会などの出席率は95%以上です。

児童から

高藤 陽菜さん(南畑)、尻石 凜さん(安庭)、村田 心海さん(大村)
人が多くなったのが一番良かったです。友だちがたくさん増えて、学校行事も種類が多くなって楽しいことがたくさんできました。また、統合したあとの令和元年に体育館が大きく立派になって、冬も暖かく運動ができます。これからもみんなで協力して、いい学校にしたいです。



御明神 小学校



御明神小学校（校長 中崎光則）は、御明神地区の御明神小学校、橋場小学校の2校が統合し、御明神小学校を校舎として、平成30年4月に開校しました。令和3年4月の児童数は75人です。



校長先生から

統合後4年目となり、校舎は大規模な改修を行い、素晴らしい環境のもと、みんな仲良く学校生活を送っています。5・6年生は学校林を活用して体験学習を行っています。何よりも子どもたちの限られた人間関係から、広がりができ、多様性が得られたことは良かったと思います。子どもたち、保護者ともに何をやるのも一緒にという良好な関係です。

児童 から

古舘 拓^{たく}さん

初めは、それぞれの地区で分かれていましたが、今は仲良く楽しくやっています。運動着が、オレンジから紺に、教室やトイレが明るく便利になって良かったです。明るいあいさつをして地域の人に評判のいい小学校にしたいです。



西 山 小学校



西山小学校（校長 菊池春夫）は、西山地区の西根小学校、下長山小学校、上長山小学校の3校が統合し、下長山小学校を校舎として、平成30年4月に開校しました。令和3年4月の児童数は153人です。



校長先生から

縦割り班で仲良く掃除したり、遊ぶ姿がとても微笑ましいです。勉強やスポーツに一生懸命の児童がたくさんいます。PTA 総会の参加率は高く、ご家族や地域の方々の皆様の教育力を感じます。教育環境は、岩手山を望む校舎をはじめ、素晴らしいです。学区には複数のスキー場や文化遺産があり、子どもたちの教育に生かします。

児童 から

佐々木 結愛^{ゆい}さん(西根)、芳賀 風歌^{ふうか}さん(上長山)、羽上 輝一^{きいち}さん(下長山)

初めは、積極的でないところもあったけど、どんどんなじんできました。いろんなことがにぎやかになり、仲良く、楽しくできました。今までにない地区に友だちができました。よしゃれなど伝統芸能で新しい学校を盛り上げていきたいです。

旧小学校は 学びの中心から地域の中心へ

旧大村 小学校



多くの人たちでにぎわいを見せる「大村春の山菜まつり」(令和元年5月撮影)



今年から始めた「そば打ち体験」

旧大村小学校活用実行委員会は、平成30年度から地域の賑わい創出を図るため「収穫市」(産直)を始めました。2年目の令和元年度には、産直に加え食堂も開催し、多くの来場者で賑わいましたが、昨年度はコロナ禍のため食堂は中止、産直も9月と10月のみの開催となりました。今年度は、5月から産直のほか、「そば打ち体験」や「フリーマーケット」など来場者に楽しんでもらえる企画を加えながら感染予防を徹底し開催しています。また、地元産品の野菜や山菜などを利用した生産・加工の挑戦も始めています。

旧橋場 小学校



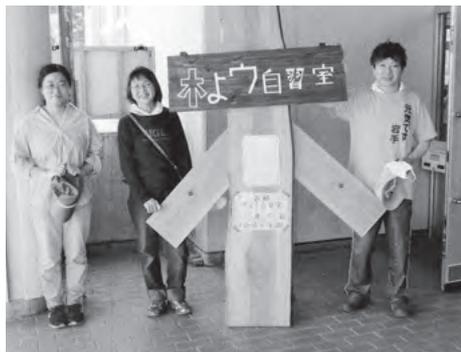
橋場分教場時代の看板を手に思い出話に花が咲く卒業生のお二人(昨年11月開催の「橋場の文化祭」)

地域住民が中心となり、旧橋場小学校を拠点とした地域の活性化を考える「旧橋場小学校さおでんせ会」が令和2年から活動しています。

昨年11月には、「橋場の文化祭」を開催し、地域の作家や住民の作品、コレクションを展示しました。旧小学校に人が集まる機会として取り組んだ文化祭は、久しぶりに地域住民の交流の場となり、校内に賑やかな声が響きました。

また、校舎は、毎週木曜日の午後「木よう自習室」の名称で自学習の場として利用されています。

「おでんせ会」では、「橋場の文化祭」や「木よう自習室」を機に旧小学校を訪れる地域住民や卒業生から寄せられるアイデアをもとに、今後の取り組みに生かしていくための話し合いを重ねています。



最初の一步として、継続されている木よう自習室

旧上長山 小学校

体育館や校庭はスポーツ少年団や地域の方々に幅広く利用されています。校舎は地域での利用を配慮しながら、個人や民間企業などへの貸しオフィス、さらに飲食店などとしても活用できることから、利用事業者を募集していく予定としており、地域経済の活性化につながる拠点施設として整備を進めていくこととしています。



体育館や校庭はスポ少活動に継続して利用



にしやま大運動会(H30.9)

旧南畑 小学校

校舎内の大きな空間を活かし、トランポリン・体操教室に利用されているほか、体育館や校庭はスポーツ活動を行う場として利用されています。

また、スポーツ振興や交流人口拡大による地域活性化に向け、校舎や校庭の特徴や立地条件を活かし、校舎内の多目的ホールなどを整備。校庭にはアーチェリーの射場を整備します。令和3年度に設計を、4年度に整備工事が行われます。



アーチェリーの射場を整備予定



体操教室に活用されている多目的ホール

旧西根 小学校

町の歴史や文化を伝える歴史民俗資料館で展示・収蔵しきれない埋蔵文化財や古民具などの保管場所として活用しています。体育館や校庭は、スポーツ少年団や地域のスポーツ活動を行う場として利用されています。



地域のスポーツ活動の中心として利用



教室に保管されている町内で出土した埋蔵文化財

ひとり親世帯 などの子育てを 生活支援

令和3年6月議会定例会は、6月4日から6月15日までの12日間の会期で行われました。本定例会では、承認3件、条例6件、補正予算3件、契約2件、その他7件、同意1件を審議しました。また、一般質問は10人が登壇し、適切な町政運営が行われているのか、町当局の考えをただし

令和3年度補正予算

会計名	補正後予算額 (補正予算額)
一般会計	100億6,954万6千円 (7,954万6千円増)
国民健康保険 特別会計	18億2,138万円 (38万円増)
介護保険事業勘定 特別会計	19億8,125万6千円 (5万5千円増)

主なもの

- 子育て世帯生活支援特別給付金 1千140万円
児童扶養手当受給ひとり親世帯または住民税非課税の子育て世帯に、児童一人当たり5万円を給付するもの
- 経営体育成支援事業 774万6千円および被災農業者緊急支援事業費補助金 684万7千円
令和2年12月14日以降の大雪や暴風で、農業用施設や機械等に被害を受けた農業者の経営再開に向けて、修繕や再取得を支援するもの。
- 鶯宿温泉開発株式会社運営費補助金 342万6千円
鶯宿温泉の観光振興、新たに雇用する人件費等の事業運営費を補助するもの。
- 新型コロナウイルス感染症予防接種事業 428万円
新型コロナウイルス感染症のワクチン接種事業に係る人件費等に支出するもの。

昨年の大雪暴風被災
農業者を支援
鶯宿温泉開発株式会社が、
町民憩の家の新たな指定管理者に



町内ではワクチン接種が順調に進んでいる



大雪により損壊したビニールハウス

ここが変わる

町税条例の一部改正で 国民健康保険税の減免を 継続

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等の国民健康保険税について、国の財政支援がされるため、令和3年度も減免を継続することになりました。

介護保険料を減免する 石町介護保険条例を一部 改正

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が著しく減少した第1号被保険者等に係る保険料の減免を、令和3年度も継続することになりました。

昇瀬橋、雲石町消防団5 分団5部屯所の工事開始

昇瀬橋架け替え工事と雲石町消防団第5分団第5部屯所の建築工事の請負契約の締結について審議の結果可決されました。いよいよ工事が始まります。

■工事名：町道滝沢・安庭線昇瀬橋架け替え工事

契約金額：6億7千980万円

請負者：右井建設株式会社・株式会社村建設特定共同企業体

■工事名

雲石町消防団第5分団第5部屯所建築工事

契約金額：5千500万円

請負者：有限会社沢口工務店

指定管理

町民憩の家鶯宿集会所の 指定管理者が変更

雲石町民憩の家鶯宿集会所の指定管理は、鶯宿温泉観光協会が行っていましたが令和3年6月30日をもって解散するため、7月1日以降は新たに鶯宿温泉開発株式会社が指定管理を行うこととなりました。

指定管理期間は、令和3年7月1日から令和4年3月31日までです。

同意

教育委員会教育長の任命 に全会一致で同意

教育委員会の作山雅宏教育長が一身上の都合により令和3年6月30日をもって退任されました。新たな教育長の任命に関し、全会一致で同意しました。

新教育長
氏名：佐藤嘉彦 氏
住所：盛岡市
任期：令和3年7月1日から令和5年12月25日



指定管理者が変更となる町民憩の家鶯宿集会所

議決結果等一覧（抜粋）

令和3年第3回雲石町議会定例会 | 議決結果等一覧 会期：6月4日(金)～6月15日(火)

議案番号	議案名	議員名														議決結果	
		金子一男	坂井尚樹	徳田幸男	岡本忠美	古館謙護	幅秀哉	堂前義信	横手寿明	岩持清美	加藤真純	杉澤敏明	西田征洋	大村昭東	上野三四二		坂下栄一
承認第1号	雲石町税条例等の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	承認
承認第3号	令和2年度雲石町一般会計補正予算（第12号）の専決処分に関し承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	承認
議案第2号	雲石町個人情報保護条例及び雲石町個人番号の利用等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第4号	雲石町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第7号	令和3年度雲石町一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第8号	令和3年度雲石町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第9号	令和3年度雲石町介護保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第13号	公の施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて（雲石町民憩の家鶯宿集会所）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 -…退席 ※前田議長は採決には加わりません。
★その他の承認、議案、同意については、全議員が賛成いたしました。

ここが聞きたい 一般質問

町政を問う 10議員が質問

一般質問は、議員が広く町政に関し報告や説明を求めたり、疑問をただしたりするものです。定例会ごとに実施されており、質問順は抽選で決定しています。

8ページ ICT教育*、中学生や教員に戸惑いは

質問者／どう ぜん よし のぶ 堂前義信 議員



10ページ 農業の高齢化や担い手不足対策は

質問者／おか もと ただ み 岡本忠美 議員



10ページ 観光分野における具体的な対策は

質問者／かね こ かず お 金子一男 議員



10ページ 電気柵設置補助事業、再補助は

質問者／にし た まさ ひろ 西田征洋 議員



Q ICT教育の課題と教員の負担はどうか。

A 令和2年度中に町内各小中学校の普通教室、特別教室にネットワーク環境を整備し、全児童生徒分の学習用タブレット端末も配備した。教員用タブレット端末60台、中学校には電子黒板12台も設置しており現在のところ十分に整備されている。

Q ICT教育環境は十分に整備され不足はないか。

【教育長】段階的に進めており、大きな混乱はない

ICT教育*、中学生や教員に戸惑いは

質問者／どう ぜん よし のぶ 堂前義信 議員

地域おこし協力隊の約6割の隊員が同じ地域に定住。積極的に活用してほしいなあ。



12
ページ

コロナ禍における 自殺者対策は

質問者／徳田幸男 議員



12
ページ

農家の所得確保、農業生産性 向上にどう取り組むか

質問者／大村昭東 議員



12
ページ

農地集約化への取り組みは

質問者／幅 秀哉 議員



14
ページ

再生可能エネルギー どの種別を優先か

質問者／杉澤敏明 議員



14
ページ

主要行事の開催、 対策を講じてできないか

質問者／上野三四二 議員



14
ページ

ワクチン接種の 予約状況は

質問者／古舘謙護 議員



A これまで18名採用し、地域づくり、移住定住、生涯活躍のまち構想、観光誘客、情報発信、農業支援、子育て支援、中心市街地活性化などのサポートをしてきた。現在は1名の方が移住定住の促進業務に取り組んでいる状況である。これまで活動期間を終えた17名のうち9名が町に在住している。

Q 地域おこし協力隊の活動経過や状況、定住の状況は。

地域おこし協力隊 期間終了後の定住は

※パソコンやタブレット端末、インターネットなどの情報通信技術を活用した教育手法。



パソコンを活用し授業を受ける中学生

A 課題は教員の年齢構成によりICTの活用に隔たりがあることから、全教員に活用を広めるとともに指導力を高めること。また学校と家庭での学習をつなぐために、ICTをいかに効果的に活用するかが課題。教員の負担についてはタブレット端末の初期故障など不具合への対応や運用方法、活用環境の整備などに負担。

コロナがなければ「さなぶり会」で重っ料理食べられたのになあ～



質問者／岡本忠美 議員

農業の高齢化や担い手不足対策は

町長 関係機関と連携し継続して取り組んでいく

Q 農畜産物の安定生産をどう支援、指導するのか。

A 飼料用米新規需要米、小麦・大豆等の土地利用型作物や野菜・花卉等の高収益作物への転作推進、直接支払い交付金や国、県の事業を活用し安定生産を促進するよう継続して支援する。

Q 農畜産物の販売、六次産業化をどう推進するのか。また、伝統料理の伝承は。農産物加工に取り組む農家やグループに、機械設備導入や団体活動へ支援し、

県立栗石高校将来ビジョンの見直しはどこが変わる。



質問者／金子一男 議員

観光分野における具体的な対策は

町長 5つの戦略を掲げ進める

Q 観光分野に関わる団体や事業所における観光政策の一貫性や連携が弱く、政策立案や事業の実施に課題があると思うが具体的な対策は。

A 具体的な行動計画としては、民間主体のエリアマネジメント体制の構築、観光産業の人材を確保する体制の構築、ウィズコロナ時代に対応した新しい観光の確立、受け入れ基盤の整備と魅力的な観光コンテンツの創出、鶯宿温泉エリアの再活性化の5つの戦略を掲げ進める。

旧営林署が町内に埋めた除草剤対策は全然進展が見られませんネ



質問者／西田征洋 議員

電気柵設置補助事業、再補助は

町長 実施済世帯は補助金対象外

Q 一度補助した場所の再補助をしない理論的根拠は。

A 当面の間は過去に実施した世帯は補助金交付対象外とし、多くの新



新規導入農家に支援している電気柵

生産、加工、販売の情報提供やマッチングを支援している。伝統料理伝承は、様々なセミナーやイベント、児童生徒への伝承活動などに取り組んでいるが、料理に触れる機会を提供し次代に受け継いでいく。

オリンピックの誕生を目指す

Q スポーツへの競技力向上の取り組みは。

A 鶯宿温泉スポーツエリア整備計画の将来構想、展望として、オリンピックの誕生を掲げ、実現に向け取り組む。各種大会活動支援、競技大会誘致などを通し競技力向上に取り組んでいる。



旧南畑小内に開設されているスポーツクラブ

Q テレワークなどによる働き方の多様性を踏まえ、宿泊施設などに環境整備のさらなる支援が必要だと思つがその対策は。

A 令和2年8月から令和3年1月までの期間に、長テール及び間仕切り等の購入費用などに対する支援として、宿泊事業者感染症対策等整備事業を実施し、11事業所に合計337万6千円の補助金を交付した。



ワーケーション設備を整える町内ホテル

栗石高校将来ビジョンの見直しは

Q 中高生徒間交流促進に絞った見直しだが、町外の中学校との生徒間交流も重要だと思つが、並行して取り組んではどうか。

A 生徒の交流を増やし栗石高校のイメージを高めることにより、中学校から入学する生徒が少しでも増えることが期待できる。同時に町外からの生徒勧誘のため、昨年度は栗石高校の校長と教育長とで盛岡市内の中学校を数校訪問し、今年度は町外から5名の入学があった。

規程組農家を支援する。令和3年度から大規模な圃場(ほじょう)を守るため、2名以上かつ2ヘクタール以上の圃場に電気柵を設置する場合、補助率50%、上限額20万円を追加補助している。

コロナ感染症対策は

Q ワクチン接種現状とこれからの展望は。

A 高齢者の約81%の方が申込みをされており、6月3日現在では、1回目の接種者は350名となっている。接種完了については7月末を目指している。基礎疾患を有する方、64歳以下の接種については、状況等を踏まえ、準備を進める。

スクールバスの運行計画は

Q 利用家庭の声にどう応えるか。

A 運行時刻を早める変更、運行時間が長くなる変更については、始発から乗車する生徒と利用家庭の負担が増えることなどが想定され、また登校時刻など場合により対応できないこともある。生徒の負担をできるだけ増やさないように調整していく。

自殺防止対策は、
当町の最重要課題
として取り組む必
要があります

質問者／徳田幸男 議員



コロナ禍における 自殺者対策は

町長 こころの健康づくり
計画に基づき事業実施

Q 国の自殺統計によれば、コロナ禍が原因による女性、子どもの自殺が増加している現状から一層力を入れた施策が必要ではないか。

A 従来から実施している心の健康相談事業、いのちの授業を実施するほか、学校、教育委員会等の関係機関と連携を密にし、さらなる対策を講じていく。

町のパワハラへの取り組みは

法令無視：平成23
年から8年間の悪
習：その責任者誰
か責任取れ

質問者／大村昭東 議員



農家の所得確保、農業生産 性向上にどう取り組むか

町長 六次産業化の推進な
どを支援

Q 農家の所得確保、農業生産性を高める研究、投資をどう考えているか。

A 農業者育成、経営安定の推進として人と経営への支援、農畜産物の安定生産と推進として、作業効率向上への支援など生産と農業基盤にかかる支援、農畜産物販売と六次産業化の推進で、加工機械設備導入や加工グループ活動支援など販売と付加価値にかかるとる支援で農家の生産性向上と所得確保を目指している。

たんばは
緑のじゅうたん
秋は黄金のざざ波
なんとか守り抜きたいね

質問者／幅 秀哉 議員



農地集約化への 取り組みは

町長 人・農地プランを小
さな集落単位で推進

Q 農地集約化が遅れているとの農林水産省の調査が公表されたが、町としての取組状況と、今後の見通しは。

A 農業者の高齢化や後継者不足、耕



一昨年度に行われた御所地区の人・農地プラン懇談会の様子

Q 職場におけるパワハラを防止するために雇用管理上の措置を講じなければならぬとされているが、町の取り組み状況は。

A 令和2年9月に町ハラスメント防止等に関する基本方針を策定し取り組んでいる。また、相談、苦情への対応として総務課内に窓口を設置し、問題の解決にあたることとしている。

よしやれ通り中心部に 防犯カメラの設置は

Q 元祖しずくいし軽トラ市の開催場所であるよしやれ通りの中心部に来場者の安全安心という見地から、防犯カメラの設置が必要ではないか。

A 町では平成28年度より防犯カメラ付き防犯街灯の設置を進め、これまでに町内10カ所に設置している。このうちよしやれ通り周辺に3カ所設置している。関係機関と協議し、設置の必要性について検討している。



活気あふれる商店街の一翼を担う軽トラ市
(令和元年11月撮影)

Q ポストコロナ時代の持続可能なまちづくりに向け、公務員倫理の理解を深める事をどう考えているか。

A 全体の奉仕者たる公務員として、職責を認識し、法令を順守し、社会規範にのっとった行動ができる職員を目指す。人事評価において自己申告後評価者の客観的評価や面談で評価結果の確認や改善点指導などで人材育成に取り組んでいく。

Q 農水省の支援対象となる、みどりの食料システム戦略に応募し、現在取り組んでいる自治体に出向き調査研究してはどうか。

A 応募している自治体は、当町と良く似た中山間田園地帯で、参考となると感じている。研究としては、指導センターとともに、昨年からの新品目へのチャレンジもしている。



新たな品目の誕生を期待

作放棄地の増加など、人と農地の問題を解決するため、「人・農地プラン」を作成してきた。国からより実効性の高いプランを作成するよう指示を受け、令和2年度末にプランの見直し作業を完了した。今後は、小さな集落単位での話し合いを開催し、進めていく。

コロナ対策で 飲食店等に町独自の支援は

Q 令和2年12月までの町の地域企業感染症対策等支援事業費補助金の利用事業者の追跡調査を実施し、対策が取られている事業者へ町独自の支援を考えているか。対策対応事業者を町内外へ向けピールすべきと思うがどうか。

A 補助金は195事業所で金額は1千800万円となった。県は令和3年度、感染症防止対策認証制度を導入し、対応飲食事業者等に10万円の支援金と認証マークの交付を実施予定である。町独自の支援は今のところ考えていない。町内事業者等に対し経営状況の調査で必要な支援策を聞き取りしている。

大区画の圃場整備をして農作業効率を上げていければよいと思う。



質問者／杉澤敏明 議員

再生可能エネルギー どの種別を優先か

町長 町の実情に応じて検討する

Q どの再生可能エネルギーの導入を優先的に推進していくのか。

A 町は様々な種別の再生可能エネルギーについて対応できる可能性が示されており、この中でも地熱発電は地域特有の再生可能エネルギーであると捉えている。今後の町の実情に応じて検討を進めていく。

大区画圃場整備は

Q 農業生産の作業効率を上げるため、大区画圃場整備をどう取り組むのか。

コロナワクチン若者現役世代優先で接種してほしいですね！



質問者／上野三四二 議員

主要行事の開催、対策 を講じてできないか

町長 直近の感染状況をみて判断する

Q 成人式など主要行事の延期や中止がある。コロナ対策をしながら行事の開催再考を望む声もあるがどう考えるか。

A 町の感染状況は日々刻々と変化しており、現時点ではまだ油断できない状況にある。直近の感染状況をみながら、中止、延期、縮小開催などの判断をしていく。

Q コロナ禍での観光誘客対策は市町村独自の支援策で減少防止に成果をあげている事例がある。長期的な対策としてどう支援していくのか。

2020年の国調人口1万5,742人。待ったなし！人口減少対策



質問者／古館謙護 議員

ワクチン接種の予約 状況は

町長 高齢者の約81%が予約

Q 新型コロナウイルス接種の予約状況は。

A 令和3年5月31日現在、5163名。高齢者の約81%が申し込んでいる。



希望者への早期接種に向けフル稼働する町内医療機関

A 令和3年度の重点事業としても位置づけ、先行して取り組む地区がモデルとなり、その後全町的に事業を展開していけるよう取り組む。

栗石駅開業100周年記念事業は

Q 記念式典を開催するべきだと思いがどうか。

A 記念式典は6月25日の開業日に合わせて実施する。令和4年度は橋場線開通100周年を迎え、沿線自治体及び関係機関と連携し、来年度の事業展開に向け取り組む。



開業100周年を迎えた栗石駅

A 3密の回避や

健康志向の高まりにより、アウトドアに関心が集まっていることからサイクルツーリズム推進など新たな観光内容を充実させていく。

また、多様な観光ニーズに柔軟に対応できるよう、しずくいし観光協会と連携した誘客事業が展開できるよう体制整備を進めていく。

学力向上支援事業は

Q 教員指導力向上プロジェクトと課外学習指導支援プロジェクトの果たす目標とはなにか。

A 教員指導力向上は主に栗石中学校の各教科別担当教員の授業力の向上である。学力向上専門監（5教科を専門とする退職校長）から授業を見てアドバイスを受けることは大きな効果があると考える。課外学習指導支援は夏季、冬季の長期休業中に学力向上専門監から高校入試を見据えた補習授業を受け、学力向上を目指す。



再開が決定した一生に一度の成人式

Q ワクチンを接種していない方へどのように周知し、地域免疫力を高めるのか。

A 接種希望者の早期接種に取り組む、今後、接種対象範囲拡大時に広報等で接種情報を未接種者へ周知を図り、接種希望につながるよう取り組む。

人口減少の要因分析は

Q 2020年の国勢調査で町人口は7.3パーセント減だったが、少子高齢化のほかの要因分析、評価は。

A 町で産まれた子どものうち、高校卒業以降4割が町外へ転出している。婚姻率や合計特殊出生率が全国以下であることが要因として挙げられる。栗石町まち・ひと・しごと総合戦略で人口減少抑制を進めてきたが、効果は薄かったと評価している。

コミュニティー協議会の概要は

Q 今年5月設立の栗石町コミュニティー協議会の概要と主事業は。

A 栗石町地域コミュニティー組織連絡協議会と栗石町地域公民館連絡協議会が統合し、相互の情報交換、活動交流会実施、人材育成に資する視察、研修の実施、活動活性化に資する情報発信等の事業を行う。

総務産業常任委員会

[杉澤敏明委員長]

調査1 温泉施設 網張温泉とありね山荘の現状を視察

5月20日、休暇村岩手網張温泉で温泉観光の課題と網張温泉源泉の現況について視察しました。コロナ禍による温泉宿泊施設利用客の減少や、網張温泉特有の硫黄臭や白濁色が源泉の湯量低下により弱まっていることなどの報告があり、今後の取り組みについて意見交換をしました。

その後網張温泉ありね山荘を視察し、腐食が進んできた外壁や給湯タンクの状況を確認しました。



温泉の湯量低下が心配される網張温泉

調査2 指定管理 しずくいしアグリリサイクル センター視察

6月11日、しずくいしアグリリサイクルセンターで施設の利用状況、設備等の現況、今後の課題などの説明を受けました。令和2年度の運営状況は、堆肥の受入量、販売量ともに前年度と比較すると減少となりましたが、製品は良質に仕上がっていました。施設・機械・車両等の老朽化による不具合が発生し、修繕費の増大、稼働停止など課題が挙げられました。



販売量は減少も肥料の品質は上々

教育民生常任委員会

[横手寿明委員長]

調査1 新型コロナワクチン 接種状況と今後の見通し

6月10日、所管課である健康子育て課よりワクチン接種状況と今後の見通しを聞き取り調査しました。65歳以上の対象者（5月末現在）では約81%の申し込みがあり7月末までに接種完了の見込みです。また65歳未満には6月下旬から、60歳未満には8月上旬に接種券を発送する計画であることを確認しました。

調査2 町の公共交通 利用者の実態調査と計画

6月10日、所管課である地域づくり推進課より公共交通利用実態調査業務委託料と雫石町地域公共交通計画を聞き取り調査しました。委託内容は交通機関や観光施設の利用者に対する実態及びニーズを

調査し、施策見直しや改善に役立てると説明を受けました。計画については各地域の特性に応じた課題を検討し施策と各課題の調査内容を項目ごとに確認しました。



施策評価する項目をリストアップする委員たち

広報広聴常任委員会

[堂前義信委員長]

議会だより 第117号好評を得て、委員全員 次号の取材奮闘中

○議会だより第 117 号紙面リニューアルして 発行

議会だより第 117 号は、議会改革の一環として、リニューアル発行され町民の皆様より好評をいただいています。

これを励みに、今後も町民の皆様親しみのある分かりやすい議会だよりを目指して活動していきます。



特集記事のレイアウトを試案中

○令和3年4月7日

議会だより第 117 号初校編集会議を開催しました。

○令和3年4月13日

議会だより第 117 号再校編集会議を開催しました。

○令和3年4月16日

議会だより第 117 号念校編集会議を開催しました。

○令和3年4月22日

議会だより第 117 号発行。

○令和3年6月4日

議会だより第 118 号の割り付けや編集日程等協議しました。

○令和3年6月15日

議会だより第 118 号特集記事の内容や取材方針について協議しました。

○令和3年6月24日

議会だより第 118 号特集記事の取材及び、レイアウトについて協議しました。

議会運営委員会

[上野三四二委員長]

協議
1

議会改革の取り組みを検討・協議 会議規則を一部改正

[4/1、5/14、5/26、6/11]

令和3年4月から、議会改革の一環として、町民と議会との懇談会のあり方、業務継続計画（議会BCP）などについて協議しています。

特に、全国的に議員のなり手不足が課題とされている中、議員活動と家庭生活の両立を図りながら活動しやすくなるよう、公務や傷病、出産、育児、看護、介護、配偶者の出産補助の場合は議会の欠席を認めることや、出産時の欠席期間の明確化について検討してきました。併せて、請願者の利便性の向上を図るため、請願者の押印を一律に義務付けていたものを、請願者が自署している場合は押印を不要とし、署名と記名押印を選択できるように協議してきました。

検討協議の結果は、令和3年6月定例会において、議員発議により提案し、栗石町議会会議規則を一部改正しました。



着実に一歩ずつ進む議会改革



あずま あつき
東 淳樹さん (53歳・矢櫃行政区)

山紫水明 県道・紫波雫石線

昨年11月、芦ヶ平という小さな集落に盛岡から移住してきました。数ある中でもとくにお気に入りなのは、矢櫃の堀合神社からうちの集落までの車窓からの景色です。新緑、木漏れ日、紅葉、銀世界…。

四季折々、通るほどにため息がでます。この美しい自然景観は雫石の財産です。後世に残すべき宝だと思っています。



ちば かずひこ
千葉 和彦さん (69歳・まがき行政区)

残雪の駒ヶ岳が好き

雫石盆地にはすばらしい山々、そして田園地帯があります。残念なのは人口減少です。住みやすい環境で、素材がこれだけあり、ぜひ当町への移住を皆さんでPRしてほしいものです。

私のお気に入りには、駒ヶ岳方面に現れる残雪で、春の雪形が熊の姿から苗取爺さん、苗取婆さんに見える頃の風景です。今年も忙しい時期に向かい頑張ります。



No.13

皆さんの声を聞きました

議員が町内を歩いて
皆さんの声を聴く VOICE シリーズ。

今回は「しずくいしのここが好き♡」です。



ささき ゆい
佐々木 結愛さん (12歳・駒木野行政区)

西山の伝統芸能

西山小では、よしゃれやさんさ踊り、西山小唄の伝統芸能を運動会や学習発表会で披露しています。私は、さんさ踊りで横笛を担当し、太鼓の音に合わせて響かせることを頑張っています。最後まで吹き終わると達成感があります。これからも西山小の自慢をたくさんの方に観ていただきたいです。



ほそかわ みさお
細川 操さん (80歳・黒沢川行政区)

四季折々

春には山菜、夏には花が咲き、秋にはくだもの、冬はコタツで丸くなる。この町は四季がはっきりしていて、メリハリがある毎日を過ごせます。どっこも、知らないけど、ここが一番いいです。交通の便がもう少しよければ、言う事なしなんです。

この町でまだまだピンピン、愛犬と過ごします。

ふるさとへの便り—84



在京雫石町友会 会員

かきき
柿木カツ子さん

故郷の楽しく懐かしい思い出

私は林崎行政区で四人姉妹の次女として生まれました。

両親は穏やかな人で怒られたこともなく、就職したいと言った私の気持ちを理解して送り出してくれました。たった15年しか暮らせなかった事が親不孝だったと55才で亡くなった母には申し訳なかったと後悔ばかりです。父はお酒が好きで無口なのに酔うと陽気になり小遣いをくれる人でした。母に先立たれて寂しい想いをしていた父に、帰省した時にはもっと話相手になってあげていれど思出すばかりです。

両親が映画好きで観たい映画があると私を連れて（妹二人は留守番）、夜、歩いて町の五十番映画館まで出かけました。ひばりさんや大川橋蔵の時代劇が好きで歩くのも苦にならなかったです。幼い時、家の北側を川が流れており妹や近所の子供たちとパンツ1枚で水遊びをしたり、隣家の庭のグミの木に登って食べたり（了解済）、美味しかった記憶があります。



職場にて（10代の私）



成人式



愛犬と

小学校は4年から新校舎に移り、休み時間に得意な似顔絵を頼まれて書いていた記憶があります。中学校は遠かったので冬は吹雪の中を歩いて帰り、ストーブの煙突から煙が見えるとほっとしたものです。部活は卓球部で現在も趣味として楽しんでいます。

職場は楽しく、寮生活も同年代の人と一緒に過ごしながら5年間勤めることができました。食堂でうどんに穴があいているのにビックリ！（それがマカロニでした）そして初めてのカツ丼など、当時の故郷では食べられなかった味なので嬉しかったです。知り合いもない神奈川に就職するなんて、今思うとよくやったと自分を褒めてやりたいです。この頃に知り合った主人と20歳で結婚。53年間連れ添い2児に恵まれました。主人も私もカラオケが好きでコロナ禍になる前はいろいろな大会に出てトロフィーをいただきました。

コロナ禍になる前は毎年お盆に帰省していたので3年くらい帰省していません。“街”にならないで田舎の“町”のままの今の雫石が好きです。

昭和22年林崎行政区生まれ。下長山小学校—西山中学校—日本電気（NEC）相模原事業所。群馬県太田市在住。子供二人、趣味カラオケ、旅行、卓球。

雫石町へようこそ

＼ ご縁があり、雫石町民になった ／

久慈 隆さん (33歳) | 林行政区 | ※盛岡市出身

Q お二人の馴れ初めは？

A 会社で知り合い、共通のスポーツ（バドミントン）を通して仲良くなりました。

Q 雫石町に暮らしてみて、いかがですか？

A 豊かな自然に囲まれて、治安も良く、子どもたちとのびのびと過ごせる町です。

Q 町に望むことは？

A 若年層による地域活性化の推進と強化。



子どもとアルペン公園にて
左上が本人。右上が妻の玲奈さん（旧姓：米沢）（27歳）
中央左：依菜さん（3歳）
中央右：悠月さん（4歳）

なかよしシリーズ⑬

今月の
表紙

写真左から
瑛斗さん（9歳）
心咲さん（7歳）
樹菜さん（5歳）



すぎたよしき いくみこ
杉田美樹さん、郁美さん（五区行政区）のお子さんのなかよし3きょうだいです

将来の夢は何ですか？

長男 瑛斗さん：サッカー選手、建築士になって自分で家を建てたい

長女 心咲さん：友達とケーキ屋さん

次男 樹菜さん：足が速くなって運動会で1位を取りたい

情報公開

● 議長交際費執行状況

【議長交際費とは】

議長等が議会を代表し、外部との交渉、情報収集、町政協力者への謝意を表すために係る経費で、会費や香典などです。

【議長交際費内訳（4月～6月）】

月	葬祭費		お祝い、会費	
	件数	金額	件数	金額
4月	0件	0円	0件	0円
5月	1件	22,000円	0件	0円
6月	0件	0円	1件	10,000円
合計	1件	22,000円	1件	10,000円

※議会の動きはHPに掲載しています。

■ 編集デスク

議場でも新型コロナウイルス感染対策を講じる「密集・密接回避の強化策」を行い、6月定例会が開催されました。わが町でも田植え後の苗が順調に生育し、稲作農家もほっとしていることと思います。

今回「議会だより」の発行にあたり、小学校統合後についての特集に取り組みましたが、町民の皆さんから旧校舎の利活用等に対してご感想を頂ければ幸いです。

最後に、広報づくりに対して編集委員一丸となり頑張りたいと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。

（広報広聴常任委員：岡本忠美）

発行責任者（議長）／前田隆雄

編集委員長／堂前義信

副委員長／横手寿明

編集委員／幅 秀哉・古舘謙護

岡本忠美・坂井尚樹

金子一男

【訂正とお詫び】

前号で5ページの下段、10行目の岩持清美委員に対する町当局（地域整備課長）の答に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

誤）2戸→正）12戸